

見える化 企画案

1.見える化企画の概要

みどりアップ計画、みどり税をわかりやすく伝える手法を検討します。

市民に開かれたフォーラムや市民参加型のイベントの開催により、情報提供と市民意見の把握を行いみどりの創造と保全に係る取組のすそ野を広げます。

企画ごとにターゲットとなる年齢層などを明確にし、個々の企画を立案します。

2.見える化企画関連のこれまでの取組

- ・リーフレット「横浜みどりアップ計画と横浜みどり税」の作成
- ・みどりのオープンフォーラムの開催(平成 22～25 年度)
- ・こどもフォーラム「まちもり探検キッズ」開催(平成 27 年度)

概要:

平成 28 年 3 月 12 日、にいほる里山交流センターで開催。広報・見える化部会による「子ども向けリーフレット」作成を契機とし、身近な緑について語り合うフォーラムを開催。

- ・アンケート調査実施(平成 30 年度)

概要:

2018 年 4 月 21 日、里山ガーデンにて市民推進会議のブースを出展。市民推進会議のこれまでの活動をパネルを展示するほか、来場者にアンケートを実施し、身近な緑について直接市民の声を聞くことを目的に実施。

アンケートの結果

・8 割の方が「市内のみどりに触れたり感じたりする機会がある」と回答

・自由意見

今ある横浜の緑を残してほしい／みどり税は知らなかったが、緑は好きなので活用してほしい／身近な里山の自然をそのまま楽しめたり、再生するようにしてほしい など

- ・市民参加型の調査部会の開催(平成 27～30 年度)

概要:

年1回開催される市民推進会議委員による調査部会に、一般市民の参加を募り、市民と一緒に現場視察を行い、意見交換を行うことで、直接市民の声を聞くことを目的に実施。

3.これからの見える化企画 検討案

目的 若年層の認知度アップへつながる広報企画の展開

(1)委員提案 ⇒評価・提案へ

・市民参加型企画の提案

例)景観の絵画・写真コンクール

→ みどりアップ計画に関連する景観であることが必要(市民の森や水田など、対象を限定するなど)
賞はどうするか。12枚選んでカレンダーにするのもいい。

・PR イベントへの提案

例)緑とは関係のないイベントにも積極的にブース出展する

・PR グッズへの提案

・教育企画への提案

例)学習要領とリンクしたみどりアップ計画の資料作成、出前講座

(2)委員主催

・市民参加型の調査部会の開催(市民との意見交換)

・Instagramを利用した若い世代への魅力発信→みどりアップ推進課が準備中

→インスタを活用した企画が何かできれば!

例1)委員自らアカウント作成し、積極的に#みどりアップで投稿

例2)#みどりアップの一般投稿の中から、良かったものを市民委員賞として Action に掲載 等

・一人から始められるみどりづくり・アプローチを体系的に分かりやすく表す冊子や web ページの作成

→どんな人に配布することを想定したものにするか、事業を絞るか。

→すごろく(人生ゲーム)等、ゲーム感覚でみどりアップを体験できるものはどうか。

⇒身の回りで取り組めるみどりアップの取組を見える化

⇒ターゲット・ツール・テーマを整理して具体化

ターゲット・ツール・テーマ案

ターゲット	ツール(例)	テーマ
ファミリー(小学生、30～40代)	・家族で楽しむすごろく(※1)	家族と楽しみながら緑を身近に感じよう
単身(20～30代)	・ツイッター、インスタグラム ・リーフレット『デスクで始めるみどりアップ(デスクのおしゃれなデザイン紹介)』	みどりアップ計画って何？
大学生(10～20代)	・ボランティアの紹介チラシ(※2)	緑の取組に参加してみよう
【認知層】 緑の活動をしてみたい個人・団体	・冊子、リーフレット(YES・NO チャートのようなもの)	色々あります！緑の取組

※1 家族で楽しむすごろくのイメージ

森:「市民の森に行ったことはある？」のマスに止まる

→行ったことがあれば3マス進む《条件を満たしていれば進むマス》

(欄外の注釈に「横浜には一般公開されている「市民の森」という樹林地があるよ。調べて行ってみよう！」と記載)

ねらい: 行ったことがある家族には身近に樹林地があることを思い出してもらおう。行ったことがない家族には興味を持ってもらおう。調べて行ってもらおう。行ったことがある、やったことがある、のマスがあると2回目、3回目の楽しみがあるので、子どもが勝つために行動を起こすかもしれない。

農:「直売所で横浜産の小松菜をゲット！サラダにしてみたら美味しかった」

→3マス進む《単なるラッキーのマス》

(欄外の注釈で書籍「食べる横浜」を紹介)

ねらい:「横浜に直売所があること、横浜産の小松菜が購入できること、さらに書籍を購入してもらえた場合は横浜で色々な野菜が栽培されていること」等を知ってもらおう。

緑:「人生記念樹をもらった！大事に育てよう」

→3マス進む《単なるラッキーのマス》

(欄外の注釈で人生記念樹の Web ページを紹介(QRコード))

ねらい: 人生記念樹を知ってもらう。家で植えてもらう。

※2 ボランティアの紹介チラシ

R2年2月開催の森部会で行われた、森づくりボランティアに大学生を呼び込むアイデアに着想。みどりアップ計画に関わる様々なボランティア活動の始め方、体験談などを紹介し、ボランティア参加を後押しする。

(3)その他

・緑に関連している人へ実態、意識調査分析

→ 資金はどうしているのか、活動のきっかけは、今後の展望、どうすれば続けていけるのか等。